



さくら並木

～これからの地域医療と 仙南夜間初期急患センターの役割～

大河原町長 齋 清志



地域医療の現状が抱える課題は、一層深刻なものとなっていると感じています。県は、『県民の医療に対する安心と信頼を確保し、良質な医療が適切に提供される医療体制の整備を確保する』ことを理念とし、第7次地域医療計画の策定作業を進めています。また、本町でも第6次長期総合計画を策定するなかで、『生命と安全を守る』ことを政策の柱の一つに掲げ活発な議論がなされている最中です。

仙南2次医療圏（仙南2市7町）における最大の課題は、今後の『みやぎ県南中核病院』と『公立川田総合病院』の再編・ネットワーク化への対応と、医師と看護師や薬剤師等のコメディ

カルスタッフの確保であろうと認識するところです。川田病院は、大幅に医師数が減少し産婦人科医師もゼロとなり、医療機能の減少が気がかりでなりません。中核病院もまた、夜間勤務の看護師や病棟業務をこなす薬剤師等の確保が困難となり、一般病床の一部閉鎖を余儀なくされている状況です。

早い段階での中核・川田病院のさらなる医療機能の分化と集約化が実現し、なお一層の連携強化が図られることが求められています。そのための議論の場づくりが急がれるところですが、この度の中核病院企業長への下瀬川先生（東北大学元副学長）の就任は、本当に心強い限りです。今後は、両病院長と企業長に構成市町の首長、さらに県と東北大学等のお力添えもいただき、より具体的に現実的な改革プランが生まれることを願って止まないところです。

さて、本題の『仙南夜間初期急患センター』の果たす役割ですが、重症患者を対象とする救急医療を担う中核・川田両院の初期救急にかかる負担の軽減を図ることが最大の目的でした。9月から、この役割を

さらに拡大することを目標として、診療対象者を中学生以上と変更することが決定されたものです。白石・角田・柴田の地元医師会と仙南薬剤師会の暖かいご理解とご協力には本当に頭の下がる思いです。

『広報おわがわら・おしらせばん』の9月1日号のトップ記事として、この診療対象者の拡大をお知らせさせていただきましたが、ぜひもう一度その詳細についてのご確認をお願いいたします。急な熱や腹痛など体の具合が悪いと感じたときなどに、医療機関が診療時間外となる平日夜間に診療を行っておりま。また、大きな病院（200床以上）では選定療養費や時間外加算がかかりますが、当センターの利用につきましては請求されることはありません。

中核病院敷地内に開院した当センターの果たす役割は決して小さなものではなく、仙南2市7町が初めて一緒に取り組んだ大切な一歩であると理解しているところですが、住民の皆さんの意識の高まりが、地域医療を守り抜く大きな力となることを信じて、たゆまぬ努力をする覚悟をいたしました。（9月15日記）

駅前図書館今月の新刊 まちの本棚

一般

■昭和ごども図書館

初見 健一／著

【大空出版】

著者が小学生時代を過ごした1970年代のものを中心に、小学校の図書館や教室の学級文庫に蔵書されていた児童書、多くの小学生たちがお小遣いで買った児童書のなかから選んだ「懐かしい本」100点あまりを紹介しています。

小説

■パドルの子

虹川 枕／著

【ポプラ社】

中2の水野耕太郎は、旧校舎の屋上に広がる水たまりを見つめる。そこで泳いでいたのは、水泳部の水原だ。ひとつずつ世界を変えていく2人。ある瞬間、水原が見せた涙の理由を探した水野は、思いもよらない真実に気づき…。

児童

■窓をひろげて考えよう

下村健一／著 嶋場よしみ／企画構成

【かもがわ出版】

人里にクマがでたーこわい病気がうつるかもー本場にそうかな？との情報もせまい窓のなかに見えている小さな絵みたいなもの。窓をひろげてみると大きな絵を見つめると、さっき小窓のなかに見えていたものが姿を変えちゃうことがあるんだ。情報を見るときはヒントを教えるよ。

絵本

■いのちのたべもの

中川ひろたか／文 加藤休三／絵 【おむすび舎】

きょうのゆうごは「おんは、よせなべ。おとこのはスパーへおかいものにいきます。おかあさんはあとからきます。はくさい、えびとりのもも、くがんもどき、メモにあるざいりょうをがこにいれると、おかあさんがきて、レシでおかあねをほらいました。ぶくろにいれるとき、おかあさんは「うみのたべもの、りくくのたべものにかけて」とい…。

学び舎通信

町内小中学校の情報を
毎月お届けします

躍進！個性を磨く部活動

運動部は、今年度も柴田郡大会を勝ち抜き、県中学校総合体育大会では、多くの生徒が柴田郡代表として最後まで戦い抜きました。団体戦では女子ソフトテニス部が県大会で優勝し、東北大会でも3位入賞の快挙を果たしました。個人戦では、水泳、新体操が東北大会に出場し、それぞれ入賞しました。文化部では、吹奏楽部が吹奏楽コンクールの地

区予選に臨みました。残念ながら県大会へ出場することはできませんでしたが、迫力あるすばらしい演奏を披露しました。美術部は、河北こども美術展で「宮城県知事賞」に輝く等、コンクールでも活躍しています。科学部は、現在、学習文化発表会に向けて準備を進め、授業ではやらない実験にも挑戦しています。今後も部活動を通じた生徒一人一人の「個性の輝き」が楽しみです。



金ヶ瀬中学校

職場体験 ～将来を見据えて～

2学年では健全な勤労観、職業観を身につさせること等を目的に職場体験を行っています。今年度は9月12・13日に町内の飲食店、小売店等14か所のご協力をいただき実施しました。担当のかたと電話でやりとりさせ

ていただいたり、働く皆さんの姿をいつもとは違う角度から見せていただき自らも体験したりしたことが貴重な体験となりました。生徒は「楽しいことでもあり、大変なことでもあり」ということが分かった。「挨拶の大切さがこれまで以上に分かった。」など多くの学びを得ることができました。



暗唱大好き シリーズ⑱ 南小編



暗唱で「かしこい子供」に

毎日の朝の会で、「今日の暗唱」を唱えています。覚えたら暗唱読本「寿限無」に担任からシールを貼ってもらいます。「今日の暗唱」に止まらず、次々と暗唱に挑戦する子供が続出しています。

9月15日には、暗唱朝会を行いました。1・3・4年生が立派に発表し、大きな拍手を浴びました。各学年、年間2回の



▲朝の会「今日の暗唱」

暗唱朝会 1年生発表「はたけのうた」



発表の機会があり、互いに刺激し合いながら自信を深めています。最近大河原南小学校の学力向上が目覚ましく、その大きな要因の一つに、この暗唱活動があると考えています。これからも、楽しみながら暗唱に取り組む「かしこい子供」たちを育てていきたいと思えます。